

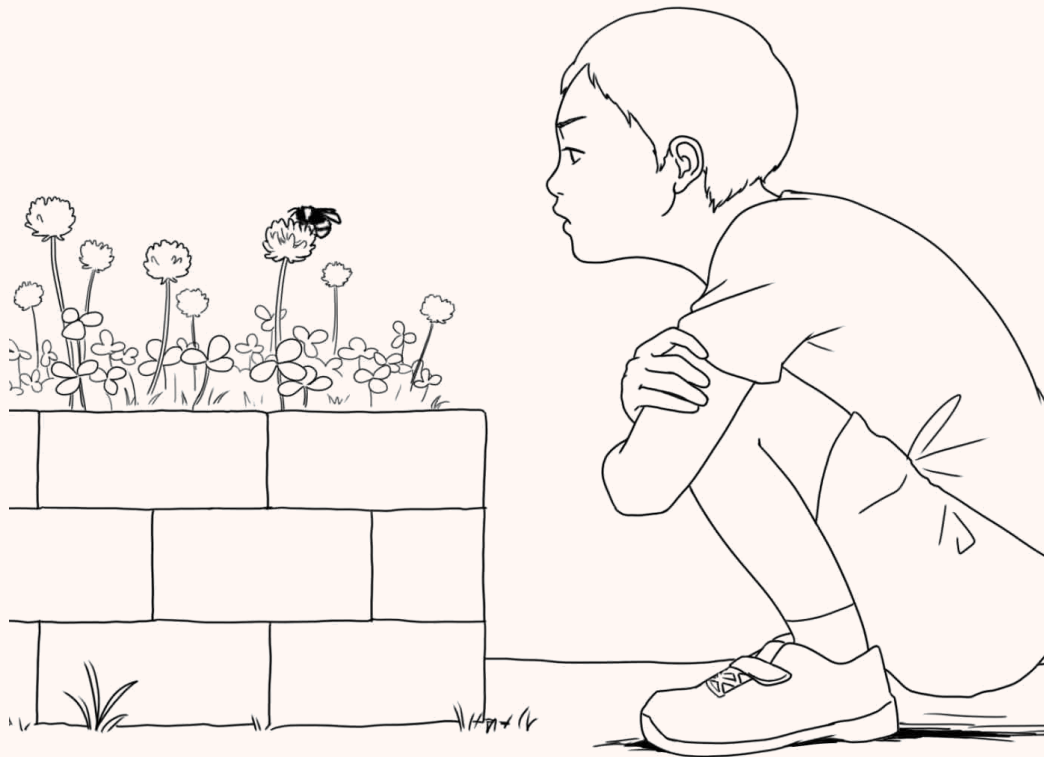
## 悪い虫？

ぼくは虫が大好きだ。虫を捕まえて、カゴに入れてじっくり見る。見たあとはカゴから出して、自然にかえす。虫の本を見るのも好きだし、テレビやインターネットで虫の動画を見るのも好きだ。虫はいろいろな色や柄をしている。それぞれの色や柄に意味がある。メスにモテるためだったり、自分を強く見せるためだったり、いろいろな意味がある。それが、すごくおもしろい。

ときどき、ぼくの家の中に虫が遊びにくることがある。お姉ちゃんは虫が嫌いだから（嫌いというか、大嫌い）、きゃー！ と叫んで、ぼくを呼ぶ。ぼくは、虫を殺さずに、やさしく家の外に出す。虫は虫で、一生懸命生きているから、できるだけ殺さずに、自然にかえしてあげたいんだ。

虫が大好きなぼくは、いま、すごく悩んでいることがある。

「悪い虫」は殺していいのか、ということ。



Hinako

(Drawn by Hinako FUJIMURA)

ぼくが悩み始めたのは1年くらい前の春だ。その当時、ぼくはハチに夢中で、家の周りや公園で、いろいろな種類のハチをじっくり見ていた。そして、ハチの写真を撮って、本やインターネットで詳しい情報を調べていた。ハチのことを詳しく調べるうちに、「悪いハチ」がいることがわかった。そのハチは、もともと日本にはいなかったんだけど、30年くらい前に、農家の人たちが外国から連れてきたらしい。そのハチがトマトの畑を飛び回れば、トマトがたくさんできるんだって。そのハチがどんどん増えて、トマト畑だけじゃなく、他の場所にも住むようになったらしい。そして、日本にもともといたハチの住む場所が減ってしまったんだって。

だから、国のえらい人たちや、ぼくの町のえらい人たちは、その「悪いハチ」を見つけたら殺してください、って言ってる。町のウェブサイトには、殺し方ものってる。ペットボトルに、お皿を洗うための洗剤と水を入れて、その中にハチを入れるんだ。

ぼくの家近くにも、その「悪いハチ」はたくさんいる。ある日、ぼくはそのハチを1匹、網で捕まえて、洗剤と水の中に入れた。ハチは、ぶぶぶぶぶぶぶぶ、とすごく大きな音をたてたあと、動かなくなった。お母さんは「悪いハチ、やっつけたね」と言ったけど、ぼくはすごく悲しくなった。

そのハチは、すごくきれいなんだ。頭の方から、黒、黄色、黒、黄色、黒、そしてお尻のところがきれいな白。性格もおとなしくて、人間が近くにいても攻撃してこない。

そのハチは、「悪いハチ」なのかな？

誰にとっての「悪いハチ」なのかな？

そのハチを殺すのはいいことなのかな？

誰にとってのいいことなのかな？

ぼくは、すごく悩んでいる。生かすのと、殺すのと、どちらがいいのかわからない。わからないから、あの1匹を殺したあと、そのハチを見つけても、気づかないふりをしている。ぼくは、まだ悩んでいる。

(1124 字)

(2022.6 Written by Junko SATO)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<https://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.